

高松市立国分寺南部小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

自ら学ぶ意欲と豊かな感性をもち、未来を創る国南小の子ども

【本校の課題】

- 全体的に体力テストの結果は向上の傾向にあるが、令和元年度の1～5年生（現2～6年生）において、男女とも、ほとんどの学年で多数の項目が、県・全国平均を下回っている。
- 運動に対する意欲に差が大きく、昼休みや20分休みに運動する児童が限られている。

【現状】

体育の授業においては、学年団で合同体育を設定しているが、領域によっては運動回数や運動時間の確保が難しい領域があり、柔軟に対応したり工夫したりする必要がある。

運動が習慣化していない児童が多く、休み時間等の体を動かせる時間を室内で過ごす児童が多い。運動能力に差が生まれ、運動への意欲がさらに低下する要因にもなっている。

【取組】

教科体育の時間に

運動量を確保し、効果的な場を設定するために合同体育を効果的に活用する。
また、授業後の学年団でふり返りの時間を持ち、次回に向けて授業改善する。

ゲーム領域(タグラグビー)を1校1運動に
昨年度に引き続いて、タグラグビーを1校1運動にする。校内で研修を行い、どの領域にも共通する効果的な場の設定や、教具の開発についても全教職員の理解を深める。

休み時間をしっかり遊ぶ時間に
「みなみの日」は、昼休みの時間が長い、遊ぶ日とする。また、クラス全員と一緒に遊ぶ日を設定し、外遊びを奨励する。ジャンピングボードや握力計を常設したり、ドッジボール大会を開いたりして、児童が体を動かして遊ぶ環境や機会を確保する。

放課後の運動クラブの充実

2学期は陸上、3学期はタグラグビーに取り組む。特に、オフシーズンになる冬場に、運動量が多く、かつ多様な動きのあるタグラグビー部をつくり、高学年の希望する児童が参加する。

体育授業の充実

体育の授業を充実させるために、現職教育や若年研修で実技講習会を実施する。機械運動強化月間には、道具の出し入れが容易にできるよう準備の支援を行っていく。

【目標】

- 新体力テストの結果で県・全国平均並み以上の項目数がR元年度を越える。
- 休み時間に運動場で遊ぶ児童の割合を70%以上にする。
- 欠席者数が全校児童数の1%以下の日が40日以上になるようにする。
- 放課後の運動クラブを魅力ある活動にし、参加児童数が対象者数の50%を越える。